

第1回戦略会議レポート 2018/4/24 湯沢町役場



新年度のため、井口代表理事、清水先生、北陸信越運輸局 山岸課長より挨拶をいただいた後、全出席者より自己紹介が行われた。

清水先生より DMOと観光圏についておさらい

我々の目指すところは、住んでよし・訪れてよしの地域づくりを観光で実現すること。一過性のイベントやキャンペーンではなくじっくりと滞在・交流いただく。国のお墨付きを受けながら世界水準DMOを2020年までに100作りたい。まもなく日本版DMO事例集が出来上がるが雪国はトップクラスとの評価を受けているので引き続き上を目指して世界水準DMOになるように。観光圏での目標は、ブランド観光地域。世界にココだけしかないものをアピールし、磨いて楽しませる。世界に冠たる食・歴史・伝統文化・アクティビティなどで世界の人を楽しめる地域を作り上げたい。



H29年度 住民啓発事業の一環での事業報告書アニュアルレポート。
1年間の事業報告(意識啓発・人材育成・商品造成・品質認証満足度調査・情報共有・情報発信)のほか、戦略会議レポート、WG報告や推進協議会・雪国観光圏の活動報告等が1冊にまとめられています。

井口代表理事より

雪国観光圏の事業は、ブランディングから経営改善までを支援する地域の総合商社のイメージ。地域の**ストーリー**が伝わるようにエリア全体のトーンを合わせ、世界観が伝わるような**品質を認証**する。**ワンストップ窓口**を持ち、連携していく。お客様の声を経営改善に活かす取り組みも行い**マーケティング**を活用していく。サクラクオリティやA級グルメも**含め事業者の理解を図る**のが重要。

雪国観光圏の理念

『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

雪国観光圏のブランドコンセプト

『真白き世界に隠された知恵に出会う』

インバウンド販売戦略

雪国文化体験を軸にしたインバウンド施策

- 1) スキー&スノーカルチャープロモーション(短期)
 - * 疑似体験するような映像。発地(シンガポール)でのPR。着地情報:リーフレットでQRコードから特設サイトにリンク。
- 2) 雪国文化を打ち出すマーケティング(中期)。
- 3) 雪国ガストロノミープロモーション(国内外対象)。

【議題1】H29ブランド確立支援事業実施報告

資料1の1~11事業を1年間実施。推進協での事業は、3・4・5・6・10。合計金額は42,741,346円、実施額は15,286,903円。

- 1-1) 松之山温泉ブランディング事業 6回のWGでブランド事業を構築、2017グッドデザイン賞を受賞。蘆田さんとフジノさんがディレクション。
- 2-1) 定期観光バス 着地型プログラムバスツアー。全国観光圏の総選挙1位の実施のために補助申請を行った。
- 3-1) 7回の戦略会議の開催、WGの実施概要・実施日。
- 3-2) ブランドデザイン管理事業: 雪国観光圏HPの管理を4サイクル。毎月PVなどの実績報告をしている。
- 3-3) 住民意識啓発事業
事業報告書アニュアルレポートの作成
- 3-4) 地域人材育成事業 全3回の人材育成。
- 3-5) 雪国ガストロノミー事業 各旅館や自遊人にて、食にまつわるイベントを開催。A級グルメプロモーション報告。
- 3-6) サクラクオリティ認証事業。調査員研修・新規調査、シンガポールでのプロモーション。新バージョンのHPも全国観光圏で公開済、雪国観光圏にもリンクしてある。
- 3-7) 会員構築事業スノーカントリーフリーク 年4回発行
- 4-1) 全国観光圏推進協議会事業 全国で共同で実施しているUDJのプロモ事業、アンケート調査事業、観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修、観光圏会議、9月の観光圏シンポジウムとツーリズムEXPOの報告
- 4-2) 雪国アート回廊 南魚沼市と湯沢町の文化施設のミュージアム巡り。

井口代表理事よりインバウンド戦略の提案と、各市町村との意見交換

7市町村が一緒にやることのメリットが最大限に発揮されるのが**インバウンド**。スキーの訪日外国人を雪国文化を体験できるところに誘導していく必要がある。

■冬場に雪国の文化や知恵を体感できるような商品。既存商品をインバウンド向けに整備するのも可。

■7市町村のインバウンド予算を統合できないか。

■戦略国をシンガポールにする理由:教育の質が高く英語圏で拡散の可能性もあり雪国文化が受けるのでは。

十日町市)一緒にやりたいがインバウンドの統合や戦略国は難しいと思うが、中長期的に考えていきたい。

湯沢町)一緒にやれる範囲でやっていきたい。

南魚沼市)雪国の知恵を生かした商品を作る方向で。

魚沼市)9月までに商品造成をして恩恵が来るように。

津南町)ツアー商品は持ち帰って検討する。

湯沢町)海外旅行社と雪国観光圏民間との日程調整を。

井口代表)ガーラとも協議しながら進めている。

事業計画に基づく進捗

- ・H30 観光品質認証 サクラクオリティのフェーズが変わる。H29は28施設が認定。100施設に向け5月以降新規訪問していきたい。紹介や説明会などの情報共有を。
- ・海外対応ができて、雪国の知恵を活かした体験ができるスーパー民宿を15認定。現在推薦34、参加表明10。
- ・雪国A級グルメ 目標100施設に対し41。テレビ放映の影響もあり問い合わせや相談もいただいている。

その他

- ・しよくBiz! 観光マッチング商談会
観光ミニセミナー(観光圏パネル展示)
観光マッチング商談会(AGTやベンチャー)
変なホテル社長による講演あり。
* 魚沼・南魚沼・十日町が参加予定。



- ・信越県境地域づくり交流会
第5回の交流会は栄村でトレイルと地域づくりをテーマにシンポジウムを行う。
雪国観光圏から3名を実行委員として選出したい。振興局から1名、十日町から1名、観光圏から1名と考えている。



【清水先生より】

なぜDMOか。多様な団体が参加し、マーケティングデータを収集分析して考える。PDCAを回す民間手法を取入れる。観光圏(地域連携DMO)と同調するか、が一番のポイント。

* 次回戦略会議は、5月29日(月)13時00分～湯沢町役場で開催です。15時30分～17時30分まで勉強会も予定しておりますので、ご参加ください。

各WGより活動報告

■スノーカントリートレイルWG

記者発表をブリッジ新潟で開催。

記者36名参加、関係者17名。

上毛新聞、観光経済新聞、

WEB旅行新聞に取り上げられている。許認可関係はほぼ終わっているが、みなかみではまだ協議が必要で9月のオープニングまでには間に合わせる見通し。道標を各市町村に配ったので雪が解け次第道標設置。SCTのHPIはコース内容を更新。(事務局発表)



■食文化WG 岩佐座長

食の学校第1回目は世界の

ベストレストラン50で日本の

評議委員長を務める中村

孝則氏を迎え世界の最新

のガストロノミーについて

お話頂く。会場は里山十帖、無料だが事前予約が必要。2部構成で、事業者の事業報告・実施報告を1人15分×3社位で行う。ぜひご参加を。

Unuma
Kitchen



■2次交通WG 永井課長

グーグルマップはコストの面から難しく国からの支援が必要との意見。観光圏顧客満足度調査の分析では2016年の調査票を借りて、目的地までの交通手段の違いによって満足度や再来訪の意向に違いがあるかの分析を行った。H27秋～29年まで3年の区切りで取組を纏めて1区切とする。

■雪国文化WG 佐藤座長

今年度は街道と石造仏というテーマで、各エリアの街道を古い地図や古い文書からひきあげてやるのがメイン。昨年の中世城の調査と連動して行う。ジオとエコをベースとしてどのようなカルチャーがあるのか、持続可能な地域づくりをすすめていくなかのひとつとしてジオパークを進めていく。雪国文化WGは、行政職の学芸員で地域資源を使って観光活用をするので連携しながら多面的に行う。

■観光協会WG 深津座長

相互販売、SCF負担金について協議。津南・栄村(旅行業をもたない)含め、チケット販売、交通と宿泊を含まないプランの販売、商品相互販売に関わる覚書をかわし、販売を実施したい。奥只見・尾瀬など共通テーマ、大地の芸術祭など売れる商品から販売していく。各観光協会に合意を頂きフリーペーパーの制作に参加。広告効果や配布先などの検証もしていかなければならない。ペルソナを呼び込むための工夫も。6万部を有効に使う。

連絡先: 一般社団法人雪国観光圏事務局
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1
TEL025-785-5353 FAX025-785-6767